



第284号

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 会報

静臨技ニュース

発行所／(一社)静臨技渉外広報部 〒422-8062 静岡市駿河区稲川1-1-15 ヴィラセーユー稲川207

TEL.054(287)6337 FAX.054(287)4113

発行者／横地 常広 編集責任者／松岡 敏彦 発行日／平成25年11月1日 印刷所／小林クリエイト(株)



11月号の内容

- ◆ メディメッセージ 2013 終了報告 1～3
- ◆ メディメッセージ参加者の感想 4～5
- ◆ 精度管理調査成績検討会プログラム 6
- ◆ 研修会終了報告 7
- ◆ 11月・12月・1月の行事予定、学術部より 8
- ◆ 研修会・講習会案内 9～12
- ◆ 会員の異動 13

メディメッセージ2013 終了報告

副会長 原田 勉（沼津市立病院）

去る8月31日（土）と9月1日（日）の2日間、沼津市にあります「キラメッセぬまづ」にて開催されました「メディメッセージ2013」も東部支部会員を中心とする多くの皆様のご協力を頂き大盛況のうちに終了することができました。

前回静臨技ニュースの伊藤事務局長による速報にもありましたように、夏休み最後の週末で、地域の防災訓練や学校行事と重なってしまったこともあり来場者の予想が立てにくい状況ではありましたが、人口約20万人の沼津市での開催にもかかわらず、1日目に約3000人、2日目には約4000人、2日間合計約7000人と人口150万人の浜松市で開催された第3回メディメッセージ2011に並ぶ盛況振りでした。



本イベントは、メディメッセージ実行委員会（公益財団法人静岡県産業振興財団ファルマバレーセンター及び協和医科器械株式会社）が中心となり、以下の概要で開催されました。

名称	メディメッセージ2013
テーマ	医療に触れよう！ 未来に触れよう！ 「がん」「脳卒中」「心筋梗塞」に挑む技術を大公開
開催日時	2013年8月31日（土）・9月1日（日） 10:00～16:30
会場	キラメッセぬまづ 多目的ホール（3,875 m ² 約 43m×90m） 所在地：沼津市大手町一丁目1番4号 TEL:055-920-4100
来場対象者	【入場無料】 静岡県東部地域を中心とする一般生活者の皆様 地域医療の未来を担う子供たち
主催	メディメッセージ2013実行委員会 ・公益財団法人静岡県産業振興財団ファルマバレーセンター ・協和医科器械株式会社／株式会社オズ
運営・事務局	協和医科器械株式会社 〒422-8005 静岡県静岡市駿河区池田156番地の2 公益財団法人静岡県産業振興財団ファルマバレーセンター 〒411-8777 静岡県駿東郡長泉町下長窪1007
協力医療機関	独立行政法人国立病院機構 静岡医療センター 静岡県立静岡がんセンター 沼津市立病院
協力医療団体	沼津医師会 三島市医師会 静岡県看護協会 沼津市消防本部 静岡県臨床衛生検査技師会 静岡県臨床工学技士会 静岡県放射線技師東部地区会 日本大学短期大学部
後援	静岡県／沼津市／三島市／富士宮市／富士市／御殿場市／裾野市／ 伊豆市／伊豆の国市／函南町／清水町／長泉町／小山町／静岡県教育委員会／ 沼津市教育委員会／三島市教育委員会／富士宮市教育委員会／ 富士市教育委員会／御殿場市教育委員会／裾野市教育委員会／ 伊豆市教育委員会／伊豆の国市教育委員会／函南町教育委員会／ 清水町教育委員会／長泉町教育委員会／小山町教育委員会

様々な医療関係団体が展示を行い、イベントの目玉は「腹腔鏡胆嚢摘出術」「心臓カテーテル」「内視鏡ESD」の実演と「手術支援ロボットダヴィンチ」であったことは確かですが、静岡臨技が担当しましたブースは「検診（体組成・ABI・スパイロ・貧血）」「超音波（頸動脈・腹部ファントム・模型）」「がん（病理・血液）」「職業紹介」と多岐にわたり、また、ピンクのベストを着たスタッフも多かったため会場では非常に目立ち、目玉に負けない存在感であったと思われます。

今回は、血液研究班大橋班長・病理研究班本田班長・生理研究班・各施設の技師長の皆様より多大なご協力を頂き、円滑に多くのスタッフの参加協力が得られましたことは非常にありがたく、また東部における会員の良好な連携があつてこそと思われ大変感謝しております。

1日目は54名（会員38名・理事16名）、2日目は53名（会員42名・理事11名）と大所帯ではありましたが担当業務も多く、特に検診ブースでは休憩も十分に取れないほどの仕事量で、次回への課題も残りました。

職業紹介のブースでは親子連れや学生さんが“臨床検査技師”についての質問をしたり、会場のメッセージコーナーでは医師や看護師にだけでなく“臨床検査技師”へのメッセージも見受けられ、臨床検査技師の認知度も少しずつあがってきていると思われます。

今回は中部地区での開催が予定されていますので、次回からは「臨床衛生検査技師（会）」あつての
メディアメッセージとなれるよう、つみこぼしの課題を消化してより良い展示ができますように中部支部
へ引き継ぎたいと思います。

『ご協力いただきました23施設・参加いただきました皆様に感謝申し上げます。』

施設名紹介（順不同・敬称略）

富士市立中央病院、順天堂大学医学部附属静岡病院、静岡県立静岡がんセンター、聖隷沼津病院、N T
T東日本伊豆病院、市立伊東市民病院、三島中央病院、静岡医療センター、共立蒲原総合病院、有隣厚
生会富士病院、富士脳障害研究所附属病院、岡村記念病院、三島社会保険病院、伊豆赤十字病院、国際
医療福祉大学熱海病院、J A静岡厚生連リハビリテーション中伊豆温泉病院、裾野赤十字病院、沼津市
立病院、静岡県立総合病院、焼津市立総合病院、静岡市立清水病院、静岡赤十字病院、静岡市立静岡病
院、静岡県臨床衛生検査技師会理事（16施設）



がん(血液)



がん(病理)



超音波検査体験



金魚も活躍



体組成(体成分)・動脈硬化(ABI)測定



スパイロ(肺年齢)

メディメッセージ 2013に参加して

市川加奈子（沼津市立病院）

8月31日(土)にメディメッセージ2013に参加してきました。私は、検診予防のヘモグロビン簡易測定のお手伝いをやらせて頂きました。小さな子どもから大人まで、たくさんの方が検査をやりに来てくださり、貧血とはどのような病気なのか、また、どのようなことに気をつけて生活していけば良いのか等、病気のことや自分の体に興味を持ってくださる



方がたくさんおり、みなさんにとって日頃の生活を見直すとても良い機会になったのではないかと思います。また、針を刺さずに検査が出来ることに驚かれる方も多く、私自身、医療の進歩を間近で知ることが出来たと共に、簡易検査ではありますが、このような痛みの少ない検査が少しでも増えていくといいなと思いました。一日だけでしたが、たくさんの方と接しいろいろな声を聞くことが出来、とても貴重な経験をさせて頂きました。ありがとうございました。

竹下 陽子（聖隷沼津病院）

頸動脈超音波検査を担当し、実際に来場者の頸部にプローブを当て、画像を見ながら説明を行いました。親子そろって体験される方が多く、子供からお年寄りまで幅広い年齢層の方が検査を体験されました。小さなお子様にとっては、初めての超音波検査だったと思います。子供たちに分かりやすく説明することは大変でしたが、とても楽しい1日となりました。多くの方に、「臨床検査」について興味を持っていただく良いきっかけとなったのではないかと思います。

松下 大輔（伊東市民病院）

配置場所は体成分測定…?? 体成分測定ってなんだろう?少し予習して、8月31日メディメッセージ2013に検査技師会の一員として参加させて頂きました。医療技術大公開のこのイベントに、興味を持った方がどの位来てくれるのか?のんびりしたイベントをイメージしていたのですが。開場して、体成分測定コーナーにも何人か並び始めると、その後は終了時まで体験希望者が途切れることはありませんでした。体成分測定では脂肪量・筋肉量が

わかるだけでなく、基礎代謝量・四肢体幹の部位別筋肉量・体脂肪量、内臓脂肪レベルや未来の腹部肥満予想図まで色々わかってしまう優れものですが、測定される項目が多いとそれだけ結果説明も大変になってくるわけで…一日中しゃべり続けるって大変ですね…お昼休憩の時に他のブースを見てみると、検査技師会のブースはどこも人だかりができていではありませんか!他のブースの方々ががんばっている姿を午後の活力に変え、目の前の貧血検査ブースは椅子に座りながらでイイなあなんて思いながら、4時半の終了時間までひたすら結果説明がんばりました。つたない結果説明でしたが、測定された方々はみな真剣に耳を傾けてくれ、また当日は3000人を超える来場者だったようで、一般の方々の医療・健康に対する関心の高さを感じる事ができました。帰りの電車では寝過ぎ程クタクタになりましたが、他病院の方との交流を含め、良い経験をさせてもらいました。次回の東部地区開催の時にも是非参加させてもらえたらと思います。みなさんお疲れ様でした。

荻田郁英（裾野赤十字病院）

メディメッセージに参加させていただき感じたことは、想像以上に来場者が多く、医療・健康への意識の高さまた、現代の最新医療に対する関心の高さでした。会場では来場者に実際に顕微鏡を覗いて、正常の血液と白血病の標本を見比べていただきました。日常の業務とは異なるため緊張しましたが、真剣な表情で顕微鏡を覗き込む子供たちの姿や多くの方に説明を聞いていただき感謝の気持ちと同時に、わかりやすい説明・コミュニケーションの大切さを改めて実感しました。今回の貴重な経験をこれからの業務に活かして行きたいと思います。



玉木 孝幸（有隣厚生会富士病院）

今回、8月31日～9月1日に開催された『メディメッセージ2013』に参加させていただくという貴重な体験をさせていただきました。なかなかこのような形で一般の人向けに、臨床検査技師としての自分の姿を見せるという機会はそう多くはありませんので、それなりに気持ちを整えた上で臨ませていただきました。普段から患者に直接対応する業務をしていますので、来場者への対応的な部分ではそれほど問題はなかったと思うのですが、医療業界の様々な職種が集う状況の中で『臨床検査技師』という名前入りのビブスを羽織ってのデモンストレーションは別な意味での緊張感がありました。出だしこそ時間

配分が上手くいかずに、説明が簡素になりすぎたかな、と言う反省はあったものの、その後は段々と説明も慣れてそれなりに良い形で出来たのではないかと思います。結局4名の担当で業務分担しつつ、10時の開始から5時間あまりにわたって一度も途切れることなく、無事に多数の来場者の対応をすることが出来ました。ところで『臨床検査技師』という職種、世間的にはまだまだ認知度が低く、また臨床検査技師自身も、『日陰の職業』、『縁の下の力持ち』的な認識は少なからずあると思います。ですが、今回の催しを通して感じたこと、それは臨床検査技師という職務内容の多様さ、そして専門性の高さではなかったかと思えます。自分が担当した超音波ブースをはじめ、血液・病理・生体検査・生理検査など、これだけ多岐に渡る情報を提供できていたブースは他に無かったかと思えます。もちろん、一般の方が医療現場などで頻繁に目にするという職種ではありませんので、なかなかこの職種への認知度や理解は進みにくいかもしれませんが、ですが医療機関に来られた方は、なんらかの形で関わりを持つ職種ではあります。そんな中、今回の催しを通じて、来場者のうち少なくとも数十人、もしくは数百人の方が、『あれって臨床検査技師という人たちがやっていたのか』という認識をもっていただけたのではないかと確信しています。また、前日の関係者の方から、『ピンクの服を着た人たちがとても親切に教えてくれて良かった』と来場者からの声があったとの報告がありました。残念ながら、当日は自分のブースで手一杯で、他のブースをそれほどみることは出来ませんでした。どのブースでも日頃の専門知識を活かして、一般の方への様々なアピールが出来ていたのではないかと感じました。日々の業務の中で、その専門性を高める努力は他の職種に決して引けをとらないと思えます、ただその一方で、一般の方への認知度の低さはやや寂しいものがあります。今後、このような臨床検査技師の知名度と存在感の向上を図れる機会や企画などが、より一層増えて行くことを期待しております。

植野 道治（富士脳障害研究所附属病院）

8月31日、9月1日の2日間にわたり、キラメッセぬまづにてメディメッセージ2013が開催されました。日本人の死亡原因の6割を占める三大疾病「がん」「脳卒中」「心筋梗塞」をテーマに子供から大人まで、一般市民の皆様が医療に触れて学ぶことのできるイベントです。会場には臨床検査をはじめAED・心肺蘇生、食事バランスチェックなどのコーナーがあり、興味をもって体験できるよう趣向をこらしたものとなっていました。更に、腹腔鏡や内視鏡手術、心臓カテーテルの実演や、手術支援ロボット「ダヴィンチ」の紹介もされ、入場者の関心を集めていました。当日、私は頸動脈エコーを担当しました。日々の業務では患者様と検査中に会話をすることはあまりありません。しかし、このイベントでは

検査の概要、検査画面上での説明など分かり易く簡潔にする必要があり、難しい反面、参加者との会話は臨床検査技師としての知識を生かすことのできる貴重な体験でした。一般の方々の健康、医療に対する関心の高さを実感し、検査を通して触れ合う喜びを体験できたことは今後の業務に必ず役に立つものと感じています。また、多くの施設から参加された会員の皆様や技師会役員の方々の活動をまじかに拝見し、技師会活動にも積極的に参加しなければと感じました。入場者数は2日間で約7000名と大盛況だったようです。このイベントに参加されたことのない方は是非参加してみてください。きっと良い経験ができると思います。

内野 有子（富士市立中央病院）

今回私はメディメッセージに初めて参加し、病理部門を担当しました。予想以上の来場者数で、医療や健康に関心を持っている方々が多くいることを実感しました。実際に一緒に顕微鏡をのぞきながら癌細胞の説明をしたのですが、普段一般の方(患者さん)に



接する機会がないため、専門的な説明を理解してもらうことの難しさを感じました。女性の方々からは子宮頸がん検診やワクチンに対する質問を多く受け、僅かながら検診の目的や重要性を伝えることができたように思います。また「臨床検査技師になりたい」「検査技師ってどんな仕事？」と質問を受け直接お話しすることができ、臨床検査技師を知っていただく良い機会であったと感じます。メディメッセージは来場者の方々だけではなく私自身にとっても大変充実した貴重な経験となりました。今回の経験や反省を生かし、ぜひまた参加してみたいです。

牧田 順子（三島中央病院）

私は、肺年齢（スパイロ）のブースを担当させていただきました。1日で400人を超える方々に体験してもらうことが出来、忙しくも楽しい一日でした。結果が体験者の方の頑張りに左右される検査なので、私たちも自然と力が入り、冷房の効いている中、汗を拭きながら、声を張りながらの体力勝負でした。途中、マウスピースがなくなったり、記録紙がなくなったりのトラブルはありましたが、子供から年配と幅広い年齢の方々に体験してもらい、肺活量検査を知って頂くことが出来て良かったと思います。このような機会があれば、また参加したいです。

平成 25 年度 静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会プログラム

平成 25 年 12 月 8 日(日) 9:30 ~ 12:30

静岡県男女共同参画センター「あざれあ」 【参加費 1,000 円】

参加者受付 (9:00 ~) [6F 大ホール]

1. 開 会 (9:30 ~)

2. 挨拶

静岡県医師会 臨床検査精度管理委員会委員長
静岡県臨床衛生検査技師会長

田内 一民
横地 常広

3. 分科会 (9:45~)

1) 臨床化学検査部門 [6F 大ホール]

2) 血液検査部門 [2F 大会議室]

3) 微生物検査部門 [4F 第1研修室]

4) 輸血検査部門 [5F 第3会議室]

5) 病理検査部門 [4F 第2会議室]

4. 全体会議 (11:00 ~) [6F 大ホール] 各部門報告

5. 総 括 (12:15 ~) [6F 大ホール]

6. 閉 会 (12:30)

- 会員は会員証カード(2012 年発行)を必ず持参して下さい。
- 当日は、駐車場がありませんので公共交通機関をご利用下さい。

☆ 求 人 情 報 ☆

(一社) 静岡県臨床衛生検査技師会では、ホームページに求人情報の掲載を行っています。

求人情報掲載の申し込み方法等のお問い合わせ先

〒410-2211 伊豆の国市伊豆長岡 1129

順天堂大学医学部附属静岡病院 検査室 勝又 俊郎 まで。

E-mail: jtd_kensa_tk@yahoo.co.jp TEL: 055-948-3111 (内線 1021)

☆ 会員投稿募集 ☆

技師会では会員の皆様の原稿を募集しています。ジャンル等は問いません。

ご意見・情報等お待ちしております。

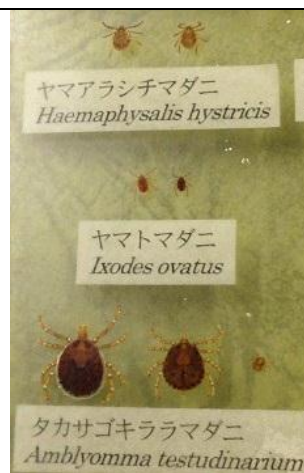
渉外広報部(編集責任者) 松岡敏彦まで t.matsuoka@hmedc.or.jp

静臨技ニュース 10 月号(抜粋カラー版)をホームページに掲載しました。

静臨技会員数 2013/10/20 現在
1,494 名 日臨技総合情報システムより

研修会終了報告

研修会名	静岡県寄生虫研究会 第18回研究総会
開催日	平成25年9月14日(土)
会場	アクトシティ浜松研修交流センター 6階62研修室
参加人数	45人
研修会内容	赤痢アメーバ症の診断について最近の知見を交えながら東海大学の橘 裕司先生にご講演いただいた。 鏡検による検出のほかにPCR法、血清抗体についてくわしく説明いただいた。受講生からの質問も多く、活発な討論となった。 一般演題においても4題の講演があった。県内のマダニ採取状況、マダニ媒介性感染症など世間で話題となった内容の講演もあり、受講生は、関心深く聴講していた。 また、静岡県寄生虫研究会では、寄生虫検査・実習研修会を隔年で行っている。多くの検査技師に参加していただき、検便法のスキルを身につけて欲しいと述べた。



研修会名	平成25年度 第2回 臨床化学研究班研修会
開催日	平成25年9月28日(土)
会場	静岡赤十字病院 3号館研修室
参加人数	37人
研修会内容	免疫検査の精度管理における考え方と、甲状腺検査についての研修会を開催しました。血清検査研究班が、臨床化学研究班と合併になり、技師会として免疫検査に関する研修会をあまり開催していないのではないかと考え、企画しました。 TRAbの臨床的有用性など、メーカーの専門の方に詳しく講義をして頂きました。来年1月にも研修会を開催予定です。自己抗体検査の最近の話題や、自己免疫疾患の病因、病態と最新の治療についてです(予定)。興味のある方、ぜひご参加下さい。 TRAb: TSHレセプター抗体



研修会名	平成25年度 第2回 一般検査研究班研修会
開催日	平成25年9月28日(土)
会場	グランシップ 会議室1001-1
参加人数	77人
研修会内容	今年度2回目の一般検査研究班研修会は、「スキルアップをしよう ～ 尿一般検査」と銘打ち、尿定性試験紙による精度管理調査の問題点を、シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社テクニカルサポートセンター 池上 孝徳先生に、尿沈渣検査で推定できる病態についてを、東京大学医学部附属病院 宿谷 賢一先生にご講演頂きました。 病院機能評価の認証取得に伴い、全国規模の精度管理調査に参加し合格する必要性や標準化により、精度管理は、益々重要視されています。そのような中での試験試の問題点を池上先生に教えて頂き、また、宿谷先生には、尿沈渣成分の貴重なスライドを問題形式にして、ユーモアを交え解り易くご説明頂き、大変有意義な研修会となりました。



平成25年 11月・12月、平成26年1月の行事予定

11月

- 2日(土)～3日(日)
平成25年度 日臨技 中部圏支部 輸血検査研修会 : 岐阜大学医学部
- 3日(日) 平成25年度 日臨技 中部圏支部 微生物検査研修会 : TKP 名古屋栄カンファレンスセンター
- 8日(金) 静岡県標準化事業 第9回 東部地区意見交換会 : 三島市民文化会館
- 13日(水) 第4回常務理事会 : 技師会事務所
- 14日(木) 平成25年度浜松市衛生検査所精度管理責任者等研修会 : 口腔保健医療センター
- 15日(金) 平成25年度 第3回 病理細胞研修会(細胞) : 沼津市立病院
- 16日(土) 東部支部理事会・技師長会 : 三島商工会議所
- 22日(金) 日臨技中部圏支部幹事会・中部地区連絡協議会 : ホテルグリーンパーク津
- 23日(土) 平成25年度 第2回 生理検査研究班研修会 : 三島市民文化会館
- 23日(土)～24日(日)
平成25年度 日臨技 中部圏支部 医学検査学会 : 三重県総合文化センター

12月

- 1日(日) 減塩・低カロリープロジェクト 2013 : 浜松市医師会館
- 8日(日) 平成25年度 静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会 : あざれあ
- 11日(水) 第5回常務理事会・第6回静臨技理事会 : 技師会事務所
- 14日(土) 平成25年度 第3回 生理検査研究班研修会 : 浜松医療センター
- 14日(土) 平成25年度 第2回 微生物検査研究班研修会 : 中東遠総合医療センター
- 15日(日) 第14回 静岡血液フォーラム : 静岡市立静岡病院

1月

- 11日(土)～12日(日)
平成25年度 日臨技 中部圏支部 一般検査研修会 : 金沢市アートホール・金沢医科大学
- 25日(土) 平成25年度 第3回 臨床化学研究班研修会 : 静岡赤十字病院

***** 学術部からのお知らせ *****

精度保証施設認証制度の申請について

日臨技の精度保証施設認証制度も4年目を迎え、本年度「いつでも、どこでも、品質保証、精度保証、安全保障」をキーワードに1,000施設の認証を第1弾の目標と決めました。静岡県は認証可能な施設70施設に対して12施設が認証されておりますが、日臨技より今年度の申請目標施設数を15施設とするよう提案がありました。1,000施設以上の実績が保険点数の掲載等を厚労省への働きかける後押しとなりますので、ご理解とご協力をお願い致します。

精度保証施設認証制度の申請を希望される施設の会員は、日臨技のホームページまたは静臨技のホームページのダウンロードに掲載されている制度指針・審査基準等を熟読いただき、新規申請施設は新規施設申請書(様式1～6)を、更新施設は更新施設申請書(様式1～6)に必要事項を記入のうえ、関係提出書類を**平成25年11月20日の提出期間内に、静臨技事務所に必着するように送付をお願い致します。その際は、封筒に「精度管理施設認証制度書類在中」と朱書きして下さい。**

なお、添付資料に必要な2年分の結果ですが、平成24年度と平成25年度の結果が必要となります。静岡県精度管理結果も日臨技の精度管理同様にホームページより印刷可能です。

しかし、平成24年度と平成25年度の精度管理に関する研修会の参加証明も必要となりますが、平成25年度は12月8日に開催されますので、精度管理報告会の際にお申し出ください。

臨床検査関連研修会・講習会 (1)

平成 25 年 10 月 20 日までに申請を受理し承認された研修会等を、下表のとおりお知らせします。

平成 25 年 (11) (敬称略)

日時・会場・参加費	研修内容・講師 (敬称略)	点数・担当・連絡先
11 月 2 日 (土) 13:00~18:00 岐阜大学医学部 1 階 大会議室 11 月 3 日 (日) 9:00~ 岐阜大学医学部 4 階 4S02 教室 受講料 5,000 円 申込締切り 9 月 30 日 (月) 定員 60 名	平成 25 年度 日臨技中部圏支部 輸血検査研修会 ＜研修会 1 日目 11 月 2 日 (土)＞ 岐阜大学医学部 1 階 大会議室 12:30~ 受付 13:00~ 開講式・オリエンテーション 13:15~ 『ABO RhD 血液型検査を正確に行うためには』 14:00~ 『臨床的意義のある不規則抗体の検出について』 14:45~ 休憩 15:00~ 『輸血副作用について』 15:45~ 『輸血検査室の精度管理』 16:30~ 『輸血用血液製剤の管理』 17:30~ 実技研修オリエンテーション ＜研修会 2 日目 11 月 3 日 (日)＞ 岐阜大学医学部 4 階 4S02 教室 8:30~ 9:00 受付 9:00~15:00 【実技研修】 (昼休憩を含む) 血液型 (ABO・Rh) 交差適合試験 不規則抗体の検出 解説	〒507-8522 岐阜県多治見市 前畑町 5-161 地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院 輸血部 八木 良仁 (0572-22-5311) (内線 2632) <u>日臨技 HP の 会員ページから登録</u>
11 月 3 日 (日) 10:00~17:00 TKP 名古屋栄カン ファレンスセンター 受講料 6,500 円 交流会 6,500 円 申込締切り 10 月 20 日 (日) 定員 120 名	平成 25 年度日臨技・中部圏支部微生物検査研修会 『輸入感染症 ―微生物担当者の経験―』 10:00 オリエンテーション、説明 11:00 特別講演 「定期接種化が待たれる任意接種ワクチン 水痘、ムンプス、B 型肝炎、ロタウイルス胃腸炎」 江南厚生病院こども医療センター顧問 尾崎 隆男 先生 12:00 昼食 13:00 「輸入感染症 4 症例のまとめ」 名古屋大学大学院医学研究科教授 八木 哲也 先生 グループワーク 実際の輸入感染症ケース (4 症例について) 愛知県微生物研究班班員 輸入感染症ケース① ② ③ ④	小牧市民病院 臨床検査科 宮木 祐輝 (0568-76-4131) (PHS 5298) JA 愛知厚生連 江南厚生病院 臨床検査技術科 舟橋 恵二 (0587-51-3333) (PHS 5109) <u>申込方法等は実際の 参加案内を参照して 下さい。</u>
11 月 8 日 (金) 18:30~20:30 三島市民文化会館 第一会議室 参加費 500 円	静岡県標準化事業 第 9 回 東部地区意見交換会 ① フェリチンの測定試薬の変更時に苦慮した事例紹介 共立蒲原総合病院 中西 巧 技師 ② 当院の精度管理方法とコントロールデータの解釈に 苦慮した事例紹介 静岡県立こども病院 太田原 慎也 技師 ③ 各社市販管理血清の表示値・管理幅の信頼度について考える ～ 各メーカーへの調査結果からの考察 ～ 静岡県立こども病院 森里 幸 技師	No. (130021557) 検体一専門一20 点 富士市立中央病院 臨床検査科 鈴木 英昭 (0545-52-1131)

臨床検査関連研修会・講習会 (2)

日時・会場・参加費	研修内容・講師（敬称略）	点数・担当・連絡先
11月14日（木） 19：00～21：00 浜松市 口腔保健医療センター 1F 講座室 <u>参加費 無料</u>	平成 25 年度 浜松市衛生検査所精度管理責任者等研修会 (1) 講演 「平成 25 年度衛生検査所立入検査の総評及び 精度管理について」 浜松市衛生検査所精度管理専門委員会委員長 聖隷浜松病院 臨床検査科部長 米川 修 先生 (2) 特別講演 基本的検査(ルーチン検査)の読み方・考え方 信州大学医学部 病態解析診断学教授 本田 孝行 先生	No. (130021535) 検体—基礎—20 点 浜松医療センター 臨床検査技術科 松岡 敏彦 (053-453-7111)
11月15日（金） 18：30～20：30 沼津市立病院 会員 300 円 賛助会員 300 円 非会員 600 円	平成 25 年度 第 3 回 病理細胞研修会（細胞） 症例提示施設 ・富士市立中央病院 ・共立蒲原総合病院 ・富士宮市立病院 ・沼津市立病院 細胞検査士資格の有無に関係なく、多数ご参加ください。	No. (130018902) 検体—専門—20 点 静岡県立静岡がん センター 本田 勝丈 (055-989-5222) 内線 2361
11月23日（土） 12：30～16：00 三島市民文化会館 大会議室 会員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円	平成 25 年度 第 2 回 生理検査研究班研修会 群馬県立心臓血管センターの岡庭裕貴技師を講師に迎えてみっちり心エコーのトレーニングを行います 12:30～ 受付 13:00～ 心エコー 「検査前に確認すべきこと！！」 ～失敗しない検査のポイント～ 14:00～ 休憩 14:10～ ライブ「心臓の診かた」 ～正しい心エコー図検査をするために～ 15:00～ 症例から学ぶ心エコー 『この所見が大切です！！』	No. (130017372) 検体—専門—20 点 順天堂大学医学部 附属静岡病院 検査室 浅野 由喜乃 (0559-48-3111)
11月23日（土）～ 11月24日（日） 三重県総合文化 センター	平成 25 年度 日臨技中部圏支部 医学検査学会 「明日の医療の担い手となる臨床検査技師」 ～多様な医療へどう関わっていくか～ 特別講演 「ポストゲノム時代の臨床検査」 ～先制医療と個別化医療における役割～ 三重大学大学院医学研究科 検査医学講座教授 登 勉 先生 公開講演 「小さい車の可能性」 本田技術研究所 主任研究員 浅木 康昭 先生 シンポジウム 「明日の医療の担い手となる臨床検査技師」	学会事務局 〒510 - 8567 三重県四日市市芝田 2 丁 目 2 番 37 号 市立四日市病院 中央検査室内 (059 - 354 - 1111) (内線 6250)

臨床検査関連研修会・講習会 (3)

日時・会場・参加費	研修内容・講師（敬称略）	点数・担当・連絡先
12月1日（日） 10：00～15：30 浜松市医師会館	「減塩・低カロリープロジェクト 2013」 一般市民を対象に、低塩・低カロリー食についての必要性を考える 主催 一般社団法人 浜松市医師会 共催 一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会	No. (130021546) 公益活動—基礎—20点
12月8日（日） 9：30～12：30 あざれあ 大ホール他 参加費 1,000 円	平成 25 年度 静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会 日臨技会員カード（2012 年発行）を 必ず持参して下さい。	No. (130018575) 検体—基礎—20点 静岡県立総合病院 藺田 明広 (054-247-6111) (PHS 8502)
12月14日（土） 13：00～16：30 浜松医療センター 3 階講堂 会員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円	平成 25 年度 第 3 回 生理検査研究班研修会 「超音波検査士講習会 基礎編」 12:30～13:00 受付 13:00～14:00 講習 14:15～15:15 講習 15:30～16:30 講習・質問 GE ヘルスケア・ジャパン株式会社 超音波製品開発部 地挽 隆夫 先生 超音波検査の基礎分野を学びながら試験対策のポイントも解説していただき、試験に臨んでいただきたいと思います。現在認定試験の受験を御予定の会員の皆様、またこの企画に興味をお持ちの皆様に多数、御参加いただけますよう御案内申し上げます。	No. (130022895) 検体—専門—20点 浜松医療センター 臨床検査技術科 小田 孝巳 (053-452-7111)
12月14日（土） 14：00～17：00 中東遠総合医療 センター 3 階 講義室 会員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円	平成 25 年度 第 2 回 微生物検査研究班研修会 「薬剤感受性アンケート結果」 焼津市立総合病院 石原 美弥子 技師 「性状確認用培地を用いた同定検査について」 栄研化学㈱ 渋谷 亮 先生 「質量分析装置の使用経験」 中東遠総合医療センター 上村 桂一 技師 「質量分析装置を用いた同定の将来と体験会」 ブルカー・ダルトニクス（株） 松山 由美子 先生 川口 壽太郎 先生 アンケート結果の報告と TSI 培地などの性状確認培地を用いた細菌同定について講演していただきます。質量分析装置を用いた新しい検査技術の紹介と使用経験をお話していただきます。質量分析に興味をお持ちの方はぜひご参加ください。	No. (130023694) 検体—専門—20点 静岡県立総合病院 臨床検査部 大石 和伸 (054-247-6111)

臨床検査関連研修会・講習会 (4)

日時・会場・参加費	研修内容・講師（敬称略）	点数・担当・連絡先
12月15日（日） 10：00～17：00 静岡市立静岡病院 12F 講堂 会員 6,000 円 賛助会員 6,000 円 非会員 10,000 円	第14回 静岡血液フォーラム 9：30 ～ 受付 10：00 ～ 11：10 第1講演 『血液像の実践的見方』 愛知医科大学 榎本 めぐみ 技師 11：25 ～ 12：35 第2講演 『凝固検査のすすめ方』 三菱化学メディエンス 澤畑 一樹 先生 13：30 ～ 15：10 第3講演 『MDSの形態的特徴から診断まで』 川崎医科大学教授 通山 薫 先生 15：30 ～ 16：40 第4講演 『フローサイトメトリーによる 急性白血病的診断のしかた』 亀田総合病院 名塚 隆 技師	No. (130011550) 検体—専門—20 点 三島社会保険病院 大橋 勝春 (055-975-5545)
1月11日（土） 13：00～18：00 金沢市アートホール 1月12日（日） 9：00～ 金沢医科大学 受講料 11,000 円 1日目のみ 8,000 円 申込締切り 11月8日（金） 定員 80名	平成25年度 日臨技中部圏支部 一般検査研修会 <研修会1日目 平成26年1月11日（土）> 11：00 ～ 受付・開講式・オリエンテーション 12：00 ～ 『あなたの力にかかっている髄液検査の 責務とは』 13：40 ～ 『尿沈渣成分の鑑定術その背景、 そしてベテラン技師の極意とは』 16：10 ～ 『病態把握の手法と評価される検査・ 技師とは』 <研修会2日目 平成26年1月12日（日）> 9：00 ～ 『寄生虫症の現状と問題』 10：05 ～ 実習① 12：15 ～ ランチョンセミナー 13：20 ～ 実習② 15：30 ～ 閉講式	事務局 公立つるぎ病院 臨床検査室 木村 由 (076-272-1250) (内線 230) <u>日臨技 HP の 会員ページから登録</u> <u>E-mail による登録</u>
1月25日（土） 14：00～17：30 静岡赤十字病院 3号館 研修室 会員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円	平成25年度 第3回 臨床化学研究班研修会 ①「自己抗体検査の最近の話題」 株式会社 医学生物学研究所（MBL） 学術部 新井 次郎 先生 ②「自己免疫疾患の病因、病態と最新の治療」 浜松医科大学医学部附属病院第三内科講師 免疫リウマチ内科長 難病医療相談支援センター副センター長 小川 法良 先生 臨床化学担当者以外でも、新入会員からベテランの方 まで興味のある方はぜひご参加ください。	No. (130017372) 検体—専門—20 点 JA 静岡厚生連 静岡厚生病院 臨床検査科 高林 保行 (054-271-7177)

研修会・講習会の詳細は、開催案内やホームページでご確認下さい